

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年6月22日発行

発刊元：まつざわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.3

## 昼コース「だがしや楽校的社会的作りの方」開講！

6月13日  
昼コース

素材×持ち味×アイデアを持ち寄って

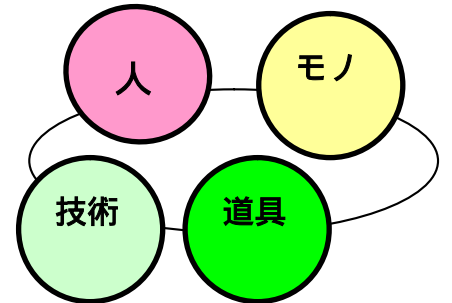
新たな活動をはじめましょう！

6月13日、23年度の大人塾昼コースが開講した。冒頭で、事務局や学習支援補助者・谷原さんの自己紹介ののち、学習支援者・松田さん自身のさまざまな活動(東北芸術工科大学での仕事、「だがしや楽校」など)を紹介しながら、このコース全体の説明があった。「今、大学ではコーヒーの「出がらし」を絵の具にし、学生の絵画の技術をつないで、生産活動を生み出す仕事をしています。このように、身の回りにあるさまざまな素材(モノ)と、ここに集った皆さんの持ち味を組み合わせ、みなでアイデアを出し合えば、新しいモノや活動を生み出すことができます。この講座内外の時間で、お互いの知恵・技術・経験を教えあったり、伝え合ったりしながら、どんどん新しいものを生み出しましょう！」とのこと。なるほど！これまで当たり前のように見つめていたモノでも、皆で視点を変えたり、それぞれの持ち味と組み合わせることで、まったく別のものづくり・生産活動・文化活動につながりそうだ。それに、自分の持ち味を目の前の人に喜んでもらえたらやっぱり嬉しい。そのようなことを、まずはここに集まったメンバーで楽しみながら活動ができれば、それはここに小さな「コミュニティ」をつくることにつながるのではないだろうか？

最後に松田さんは私たちに向かって、「この講座を通してまず、自分の生活が豊かになること。次には、身の回りの地域や杉並に視点を向けて、私たちができることの「おすそわけ」をして社会を豊かにすること。それが次世代へつながり、未来を豊かにすること。この3つが講座の大きな目的です」と、力が湧きあがるような言葉をいただいた。次回はさっそく、各自がモノ・持ち味をもちよっての話し合い活動を実施する。テーブルの上にアイデアが浮かびあがる瞬間が待ち遠しい。(記事：川上)



新たなモノは、これらのことがらが相互に関わりあって生み出される！



松田ノート(23.06.13)

### コラム 発想する！タ・ネ

このコーナーでは、講座内で話にあがったことの追跡調査や、講座外でのおもしろい活動・ものづくりなどを見つけ、「発想するタネ」になりそうなコト・モノをお伝えしていきます。

今回は、松田さんが講座内で「おすそわけ」してくれた「とんがり山サブレ(右写真上)」。なんとユニークなお菓子は、山形市の西丘陵にそびえる三角形の富神山(とがみやま)をモチーフにしたもの。この山ふもとの街道沿いにある「新清堂(右写真下)」で製造・販売されています。お菓子のパッケージは、お店のご主人のデザイン！他にも、この地域を発想の素材にした、さまざまなお菓子を製造・販売しているそうです。松田さんによれば、「近所の方がお客さんであるこの店にとっては、この地を凶案の素材にしていくことは、重要なコミュニティの媒介物」になるとのこと。確かに、地域のだれもが知っている土地の風景や名物が、手作りお菓子になっていたら、共通に話せる話題となって、話に花が咲きそうです。それも手助けしてか、このお店は地域の交流拠点になっています。「すぎなみ」をモチーフにした食べ物や、ものづくりが、大人塾から生まれたいいですね。

(参考：松田道雄ブログ「アーツ・アンド・コミュニティ」)



「Yes, and」が  
大事です！

# つながりづくりワークショップ開催

6月15日  
夜コース

まずは円から  
スタート

はい  
はい！犬  
はこっ  
ち！

ペアに  
なって  
手合わせゲーム

まあく並べられた椅子。いつもと違う部屋の様相に、受講生はちょっと緊張気味。夜コース第2回は「つながりづくりワークショップ」を講師に樋栄ひかるさんを迎えて行った。

「こんにちは！」とマイクも使わず、大きな声で挨拶からスタート。「このワークショップを通して、みなさん、自分の根っこの部分を見つけてください。ああ、自分てこういうことに興味があったのか、こういうことがきらいだったんだ、と、コミュニケーションを行いながら常に意識して欲しいです。まず自分を知らなければ、相手に想いをうまく伝えることはできません。」樋栄さんの元気な声が響く。

樋栄さんがコミュニケーションで大切にしていることは「Yes, and」。まずは相手の話を受け入れる。「えーっ」ではなく「ほーっ」や「ふーん」で受け入れて、そこに自分の意見を重ねて会話をすること。それだけで関係がとてよくなっていく。

いよいよワークショップ開始。まずは手をたたいて相手に拍手の音を飛ばすゲームから始まり、次はより相手に寄り添うために拍手で受けてから次の人に飛ばす。体を使って相手のことを受け止めるワークショップの次は、「自分は色にしたら何色？」「動物だったら？」という質問に皆自分を見つめて頭をひねる。「自分のことを知るのに、言語にするのは難しい。何かに投影してみると自分のことがわかってくる。」ということだ。最後は、4~5人になり、起承転結で話をまとめるワーク。「むかしむかし」から始まる最初の人突然作った話を、「毎日毎日」「ある日」「そのおかげで」と順番につなげてストーリーを作っていく。まさに、「Yes, and」の体験と実践のワークショップである。きちんと話がつながっただろうか？

受講生同士、ペアになった後は握手と名前を言い挨拶を交わした。この2時間で新しいつながりの発見があったにちがいない。(湊)

## ワークショップやコミュニケーションで大切なこと

Yes, and (まずは受け入れること)      Be Present (ここに心をおく)  
No "ひ・む"(むずかしい・ひかくななど言わない)      Listen (相手の言葉をきく)  
Co-Create (共に作り出す)      Have Fun! (楽しむ)



## 大人塾を支える「おとな」たち

大人塾を支える個性ゆたかな？  
事務局スタッフのご紹介！

### ☀️ 中曽根 聡

社会教育を仕事に選んで23年。今年からは学校支援業務などにも関わっています。時々事務局として大人塾運営や飲み会に顔を出しますので、区民・職員の立場をこえて、ワイワイ話し合いたいでしょう。

### ☀️ 松坂 哲夫

在住・在勤・在学での通算杉並歴、数十年。大人塾担当は3年目です。皆さんとの出会いから、新たな地域との結びつきが芽生えることを願っています。いろいろなお話を伺えることを楽しみにしています。

### ☀️ 湊 真澄

大人塾を担当して6年。元気で明るいだけがとりえながら、実はわりと病弱。(お手柔らかに~)今年も受講生の方々や社会と繋がりながら、新しい発見をしたい！と思っています。新たな出会いも楽しみです！

### ☀️ 川上 和宏

群馬県出身。昼コースを担当して今年で4年目。仕事と平行して千葉大学大学院教育学研究科に所属中。今後の人生を悩める26歳。みなさまの人生について、ぜひ教えてください！！

□すぎなみ大人"塾"してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。